

# どんつう 11月号

こんにちは！どんつう係です。

今回は、11月に行われた本郷杯個人戦の感想を寄稿していただきました！

ぜひ最後までご覧ください！



～目次～

八ツ井@3 男

まき@1 女

竹内さん@6 男

初めまして、こんにちは。3 男で企画係をさせてもらってるハツ井です。

元サーはウィーケンで、先輩方に連行される形でドンキーに入会させてもらいました。今回はどんつうへの寄稿ということで、字数の感覚もあんまわかってないのですが、先日の本郷杯のことについてつらつらと書いていきたいと思います。

強豪ぞろいの本郷杯。五連覇がかかる本命ドンキーは順当に勝ち上がって決勝戦は Blendy との一戦。下馬評では両者の実力はかなり拮抗しており、どちらが勝ってもおかしくない。当日のコートには学内や国公で名が知られる「猛者」が勢揃い。特に男子は、駒場時代のチームメイトが今日の敵ってこともざらで、そのまた逆も然り。まるでオールスター戦を観ているようでしたね。痺れます。

各試合の感想なんてもんは細かく書き出すとしょうがないので割愛します。全体を通して、とにかくテニスのレベルの高さと、何がなんでも優勝するという気迫に圧倒されました。本郷系のチームが 2-4 年でメンバーがほとんど入れ替わる中で、各個人でなくチームとしての力が試される五連覇をかけた戦い。キャプの豊田さんをはじめ、各個人が「勝ちたい」と思う以上に、「優勝するぞ」という気概が、メンバーからひしひしと感じられたように思います。それに応えるように応援の音量と熱量も増していくばかり。これが団体戦なんだな、って改めて思える時間でした。本当にみなさんかっこよかったです。

連勝記録は続き、ついに六連覇へ向けた戦いとなります。6 年間勝ち続けるなんてとんでもないことですね。2016 年には何があったんだろうと調べてみたらランプさんが就任したタイミングだそうで。僕個人が本郷杯に出場するか(できるか)どうかはわかりませんが、ドンキーを盛り上げていくことでチームに少しでも貢献できたら、六連覇の一端を担えたらな、なんて思ってます。みなさん本郷杯お疲れ様でした。

こんにちは！1女のまきです！たなきゃんの時に初めてどんつうを依頼されて、勝手に次はだいが先だろうと思っていたので、まさかの2回目のどんつう依頼に大慌てでワードを立ち上げています。

何よりもまず、本郷杯優勝おめでとうございます！そして、当日までのチーム練の日々、お疲れ様でした！

私は2日目の応援に行かせてもらいました。2日目は最初の試合が8時からと早く、前日の夜に3時台の目覚ましをセットした時は、正直、「明日熱でも出ないかな」と思いました。許してください。でも、チームという存在のある大会が私にとっては初めてで、その特別な雰囲気味わえたり、優勝の瞬間をその場で迎えられたりして嬉しかったです！私を幸せな気持ちにしてくださったこと(と私の早起きに意味を与えてくださったこと)に感謝します。アーメン。

試合は、免責として掲示板へのリアルタイム実況をこなすことに40%ぐらい気を取られてしまっていたので、試合の流れだけに集中することは難しかったです。ナイスプレーが続出して興奮しました！小学生みたいなコメントをしちゃうんですけど、チームのメンバーって本当に上手いですね。プレーがカッコよすぎました！そんなプレーを見て、もはやファンと化しているのも、たまにプレー中のメンバーがハイタッチしにきてくれるのが嬉しかったです。それと、Cookieが何たらで、掲示板に書き込めなかった私のスマホを「私これ直せるんだよね」とサラッと直してくれたしおりさんもカッコよすぎました。私も来年、後輩にサラッとやってあげたいので直し方教えてください笑

あとは、応援ですね！ドンキ一流のみんなと揃っての応援を私は初めて知ったのですが、個人的には中高の部活を思い出して楽しかったです。覚えられなくて、見よう見まねでやっていましたが、完璧にこなせるようにたくさん応援に駆けつけたいと思います！

1女では、今回、ゆかとおのあみがチームに入っていました！2人とも本当にお疲れ様&誇らしい&憧れです！話を聞いていると、2人ともアドバイザーの人めっちゃ好き！ってなってるし、楽しそうだし、先輩とめっちゃ仲良くなってるので羨ましいです。話を聞いたり、本郷杯を応援したりして、私は大学で始めてまだまだ下手くそですが、テニスのモチベーションが上がりました。そういえば、本郷杯明けの正規練は参加者がたくさんいた気がするので、みんなそうなのかなと思います。やっぱり、チームの存在って大きいですね！

初めましての人は初めまして、竹内@6 男です。みんな博士課程に行く僕のことを「Dr. Takeuchi」とか「D の意志を継ぐもの」とか呼んでいるので、気軽にそう呼んでください。後者は最近やっと空島編まで見終えたワンピースに影響を受けています。冗談はこの辺にして(博士課程に行くのは本当です笑)、本郷杯について書かせて頂きます。

本当に五連覇嬉しいですね！本郷杯での優勝は、単に本郷系サークルの中で、テニスが最強ということ以上を意味すると思います。チームメンバーの努力や身につけた技術はもちろんですが、応援の集まりや一人一人の熱量、チームメンバーのサークルへのコミットメントなど、ドンキーのサークルとしての総合力で優勝したと言っても過言じゃないです。普段の正規練習やイベントなどから、みんなが楽しむための工夫や気遣いが出来ていることの表れだと思います。

ここでは、僕が触れないと誰も触れない可能性が高い、6男(はせしよ一、田川、山崎)について、この本郷杯チーム期間で感じた、来年以降のメンバーにもぜひ見習って欲しい、彼らのいいところをあげていこうと思います。

まず、チームの勝利のために何ができるのか、常に考えて実行する事です。これは僕が台に行った時にはせしよ一を見て感じたことです。はせしよ一は、今年もレギュになることができず、かなり悔しい思いをしたらろうと思います。しかし、全く周りにそれを感じさせず、チーム練でも本番でもいつもの明るいはせしよ一で、アドバイザーとして、応援として、チームが勝てるよう工夫し、全力を尽くしていたのが、本当に印象的でした。

次に、サークルを全力で楽しむことです。これは田川が部分的に良いお手本だと思います笑。彼は、下心丸出しのものがたまに混ざっているのは見逃すとして、数え切れないほどの個人企画をやってくれました。イベントにもチームにもほとんど全参し、全力で酒を飲み、彼自身一番ドンキーを楽しんでいたんじゃないかなと思います。そこにいろんな人を巻き込んでくれていたことが、今ドンキー全体で学年の壁を超えて仲良くできている大きな理由なんじゃないかなと、個人的に感謝しています。

最後に、チームの勝利のために、テニスと真摯に向き合うことです。これは間違いなく山崎が徹底していたことだと思います。大学生は、それぞれが授業にバイトに忙しい毎日を過ごしていますが、山崎はチーム期間になればテニスにほとんどの時間を割いて、徹底的に実力を高めて本番に臨んでいます。団体戦掲示板を見て驚いたのですが、痛み止めまで打って練習していたみたいです。本番で見せてくれた安定したプレーは、その練習量に裏打ちされていたわけですね。

いかがだったでしょうか。この6男たちを見習って、来年以降もドンキーが6連覇、7連覇と勝ち続ける、良いサークルであり続けてほしいですね。